

アティックザマン客員研究員

私は、日本と同様地理的に災害に非常に脆弱なバングラデシュから、この1月に客員研究員としてアジア防災センターに来ました。バングラデシュでは、サイクロン、洪水、堤防決壊、トルネード、高潮などの災害が頻繁に起きます。

私は本国ではバングラデシュ行政トレーニングセンター（政府国家訓練機構）で所属しています。ここでは、災害管理、環境開発と管理、貧困軽減、地方行政管理などの研修コースを提供しています。

また私は地理環境科学で修士号を得たので、災害関連分野で研究をすることができることを嬉しく思います。1993年には私はダッカ首都圏開発機関（RAJUK）で土地管理官として、政府と国連人間居住センター、国連開発計画との共同プロジェクトに携わった経験もあります。

来日直後にはJICA(国際協力事業団)防災管理セミナーに参加することができ、非常に勉強になったとともに、14カ国から参加している防災関連の専門家と知り合い、互いの情報を交換することができました。さらに、日本の様々な災害関連の機関や施設を訪問し、とりわけ阪神淡路大震災関連の訪問先から多くのことを知り、防災への備えや防災対策の大切さを実感しました。

現在私は災害分野に対して大きな関心を持っているので、さらにこのプログラムで多くのことを学びたいと考えています。アジア防災センターの客員研究員制度という人材育成プログラムは、非常に特徴的で実際的だと思います。災害についての知識ばかりでなく、日本の文化、習慣や行動パターンについても学ぶことが多々あります。私のADRCでの生活は、非常に多くのことを学び、人生において記憶に残る楽しい日々となることと思います。

(バングラデシュ地域行政トレーニングセンター 課長 Md.アティックザマン)

